

2019年7月1日

各位

株式会社みなと銀行

### 兵庫県と連携した「ひょうご認知症サポート店」の取り組みについて

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（頭取 服部 博明）は、7月1日（月）より、地域でSDGsの輪を拡げる取り組みの一環として、下記の通り、兵庫県内の98カ店を「ひょうご認知症サポート店」として兵庫県に登録しましたのでお知らせします。

厚生労働省によると、日本の認知症患者数は約462万人（2012年）と推計され、兵庫県でも、約19万人（同年）から、2025年には30万人を超えるものと予想されています。このような背景から、当行では、すべてのお客さまに安全・安心な銀行サービスをご提供していくため、9年前から認知症サポーターの養成に取り組み、現在では906名の資格取得者を全店に配属しています。

掲題の取り組み98カ店には、下記ステッカーを掲示し、今後は兵庫県等と連携を強化し、地域の方々に更に安心して銀行の店舗（サービス）をご利用頂ければと考えています。

今後も関西みらいフィナンシャルグループでは、地域の皆さまへの様々な金融・情報サービスの提供に努めるとともに、安心して暮らせるまちづくりへの協力を続けてまいります。

#### 記

1. 名称 ひょうご認知症サポート店
2. 内容 認知症サポーター養成講座を受講した従業員等を店舗や窓口等に配置し、認知症の正しい理解と適切な対応に努める
3. 登録店舗 兵庫県内98カ店 【右/掲示ステッカー】



#### 【ご参考】

- ▶ 当行の認知症に関する取り組みについて
  - ・2010年度より認知症サポーター養成講座を実施し、現在906名を配置
  - ・2015年8月以降、兵庫県や神戸市等の自治体と高齢者等を見守る協定を締結し、全店舗で地域見守り活動(\*)を実施
    - (\*)当行従業員が、日常業務の中で、地域にお住まいの高齢者や、障がいをお持ちの方々の異変に接した時は、県や各市町など行政機関へ速やかに連絡する
- ▶ グループの関西みらい銀行の取り組みについて
  - ・2010年度より継続して認知症サポーター養成講座を実施し、約3,500名を配置
  - ・2016年5月27日、大阪府と「高齢者にやさしい地域づくり推進協定」を締結
  - ・2016年10月3日、滋賀県と「高齢者の安全・安心の確保に関する覚書」を締結

以上

